

第9回下水汚泥有効利用勉強会を開催しました

滋賀県では、順次更新時期が訪れる汚泥処理施設について、職員の知見を深め、更新時の参考とするため、汚泥有効利用についての新技术を勉強する場として、令和3年度から職員向けの勉強会を開催しています。

令和8年3月5日(木)に第9回勉強会を開催しましたので概要を報告します。

第9回勉強会は、(株)三和産業（滋賀県湖南市）でコンクリート二次製品の製造現場を見学した後に、山室木材工業(株)（滋賀県米原市）の木質バイオマス発電施設（いぶきグリーンエネルギー）を見学し、資源の有効活用について学習しました。下水道課、南部・北部流域下水道事務所等から12名が参加しました。

三和産業では、滋賀県東北部浄化センターの下水汚泥焼却灰を混合した二酸化炭素吸収型コンクリートを、大学との共同研究により開発・製造しています。事業概要を説明いただいた後に材料投入から成形、出荷までの製造工程を見学しました。

いぶきグリーンエネルギーでは、山室木材グループの事業や発電施設の概要についてご講義いただき、木質バイオマス発電のフローについて学習しました。発電施設に投入された木質燃料チップは石・砂などの異物選別後にボイラーに送られ燃焼し、発生した蒸気でタービンを駆動することで発電を行います。発電した電力は民間電力会社に売却し、住民や事業者に供給されています。

引き続き現場見学や講演等を通して、職員の知見を深めていきます。



三和産業の事業紹介



施設見学の様子（いぶきグリーンエネルギー発電所）